

<今日の説教のポイント ヨハネによる福音書1章24～34節 >

1 洗礼者ヨハネの洗礼の特徴

洗礼は、異教徒がユダヤ教に改宗する際に行うものとして旧約の時代からありました。しかし、洗礼者ヨハネはユダヤ人も含めた全ての人に向けての洗礼を呼び掛けました。それは「**罪の赦しを得させるための悔い改めの洗礼**」(マルコ 1:4)でしたが、さらにはもっと重要な、神様が遣わされるイエス・キリストに向かわせるための洗礼でした(マルコ 1:7、ヨハネ 1:25-28。また 1:6-8, 15)。したがって、それは今の私たちにも向けられたこととも言えるのです。

2 洗礼者ヨハネがイエス・キリストについて強調していること

洗礼者ヨハネは、主イエスに出会って真っ先に、「**見よ、世の罪を取り除く神の子羊**」(29)と言いました。キリスト教でイエス・キリストについて最も多く用いられる代表的な表現です。「**世の**」は全ての人に関係していることを示しており、「**神の子羊**」は神の民をエジプトから救い出された出来事を思い出させ、「**罪を取り除く**」はまさに主イエスその方に神様が込められ、洗礼者ヨハネを用いて示そうとされた中心内容を表しています。

3 主イエスが私たちの「知らない」方であることを強調する意味

表題のことが三度も強調されています(26, 31, 33)。イエス・キリストが私たちの思いを超えた方であること、しかし確かに今神様が遣わして下さったこと、そのことを福音書記者ヨハネも洗礼者ヨハネも強く思い、これを読む者(私たち!)に伝えようとしているのです。

4 ヨハネ福音書から知らされる聖霊についての理解

1章32節以下、そして20章21-23節によって、聖霊とは神様からイエス様に与えられ、イエス様が天に昇られた後はイエス様から弟子たちに与えられると考えられていることが分かります。大事なことは、聖霊が何かを私たちが正確に理解しきることではなく、神様がイエス様を通して私たちに働きかけられ、そして今はイエス様を信じた者に働き、福音の伝道のために用いようとして下さっているということです。イエス様の上に「**霊が鳩のように天から下って、この方の上にとどまるのを見た**」(32)に聞かなければならないこと、聞けることはそのようなことなのです。イエス・キリストその方の重要性を思います。